

★この注文書でのご注文は返品条件付きで出荷します

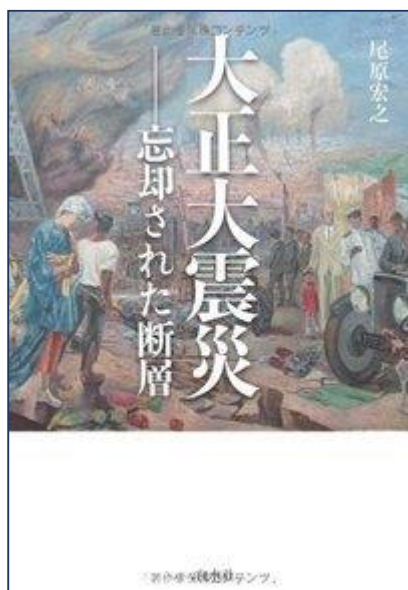
●話題書・人文書(日本史) ご担当者さま

関東大震災 100年

戦後定着した関東大震災という呼称は、
この大地震とその社会的含意の何を蔽い隠したか

大正大震災 忘却された断層

尾原宏之 著



この大地震について、当時の日本人が「大正大震災」と呼んでいたことは、今日ほとんど知られていない。内務省による公式の震災記録は『大正震災誌』であり、東京府は『東京府大正震災誌』、警視庁は『大正大震火災誌』、出版社に目を転じてみても、改造社は『大正大震火災誌』、増刷十万部の大ベストセラーとなった講談社の記念誌も『大正大震災大火災』だった。なぜ彼らは、「大正大震災」と思わず命名したのか。本書はこうした問いかけから、もうひとつの明治・大正・昭和の歴史を浮き彫りにする。維新革命から自由民権運動を経て、朝鮮人虐殺、そして総力戦体制に向かう鉅脈が鮮やかに浮かび上がる

貴店印	注文数	978-4-560-	書名	本体価格
		08206-5	大正大震災	2,000 円
ご担当	様			

(株)白水社 営業部 TEL 03-3291-7811

FAX 03-3291-8448 (備考 2-19)